

水系多彩模様仕上塗材

ラテラトーン

吹き付け仕上げタイプ

水系多彩模様仕上塗材

ラテラトーン R

ローラー仕上げタイプ

壁を彩る塗料の表現力

水系多彩模様仕上塗材

ラテラトーン

最近の戸建住宅に使われる「サイディングボード」は意匠性に優れコスト安で工期短縮可能な優れた建材です。しかし、**改修**する際にどうしても犠牲になりがちなのが意匠性です。

1色で塗り替えた場合に仕上がり感が単調になってしまうため、せっかくのデザインが損なわれてしまいます。

ラテラトーンは**ハイレベルな塗料**と**ハイレベルな塗装方法**により**石材のような高級な仕上がり**を実現しました。

耐候性に優れたアクリルシリコン樹脂エマルジョンを使用することで、長期間にわたり高級感を提供します。また、中塗りに遮熱性能を付与することでサイディングボードの蓄熱による不具合を軽減して家を**長期間保護**し、夏場の快適な生活空間の提供を手助けします。もちろん、**環境に優しい水系設計**で気になる溶剤臭も少なく済みます。サイディングボードの意匠性を変え、今までとは違った自宅に生まれ変わります。

ALL FOR QUALITY

特長



高意匠性

薄膜でありながら、多彩でダイナミックな仕上がりを実現します。

遮熱性

吹き付け用ラテラトーンの中塗りに用いる塗料は、遮熱性能を付与させ、サイディングボードの蓄熱による不具合を解消し、快適な生活空間を実現します。

防カビ・防藻性

外壁の美しさを損なわせ、劣化を促進させる要因でもあるカビや藻の発生を長期間にわたって防ぎます。

高い安全性

水系なので火災の危険が減少すると同時に作業者の労働環境も向上します。

高耐候性

アクリルシリコン樹脂エマルジョンを使用し、高耐候性を発揮します。

耐汚染性

ラテラトーンの強靱で柔軟性に富んだ塗膜は、優れた耐汚染性を発揮します。

優れた作業性

一液型なので、混合する必要がありません。

上塗りは、吹き付け仕上げタイプとローラー仕上げタイプの2種類があります。

低臭・無公害

環境に配慮した水系塗料なので、臭いはもちろん有害物質を揮発することはありません。

用途

サイディングボード、エントランス、開放廊下の高意匠性塗装



● 適応下地

- ・窯業系サイディングボード
- ・モルタル面
- ・RC面
- ・PC面

※金属下地には施工できません。

荷姿

ラテラトーン … 18kg

ラテラベースカラー … 15kg

ラテラシーラー … 15kg

ラテラトーンR … 16kg

ラテラベースカラーR用 … 16kg



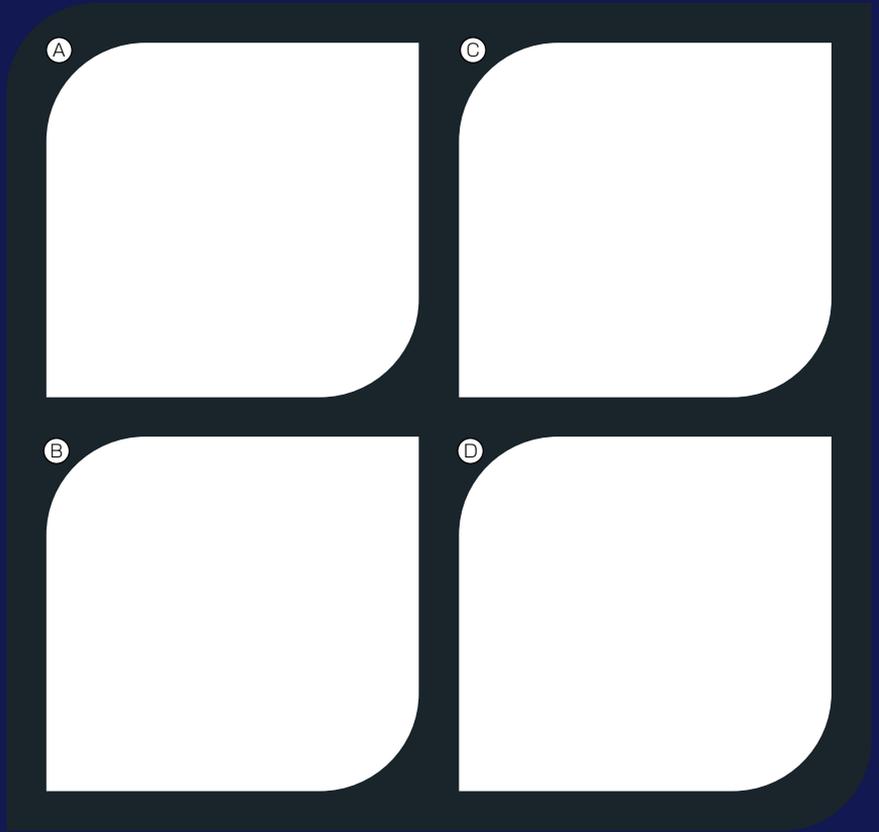
水系多彩模様仕上塗材

ラテラトーン

■ 3工程

■ 上塗り吹き付け仕上げ

- A エルフサーフホワイト
- B シャドウシルバー
- C クリフダークグレー
- D グランドブラウン



水系多彩模様仕上塗材

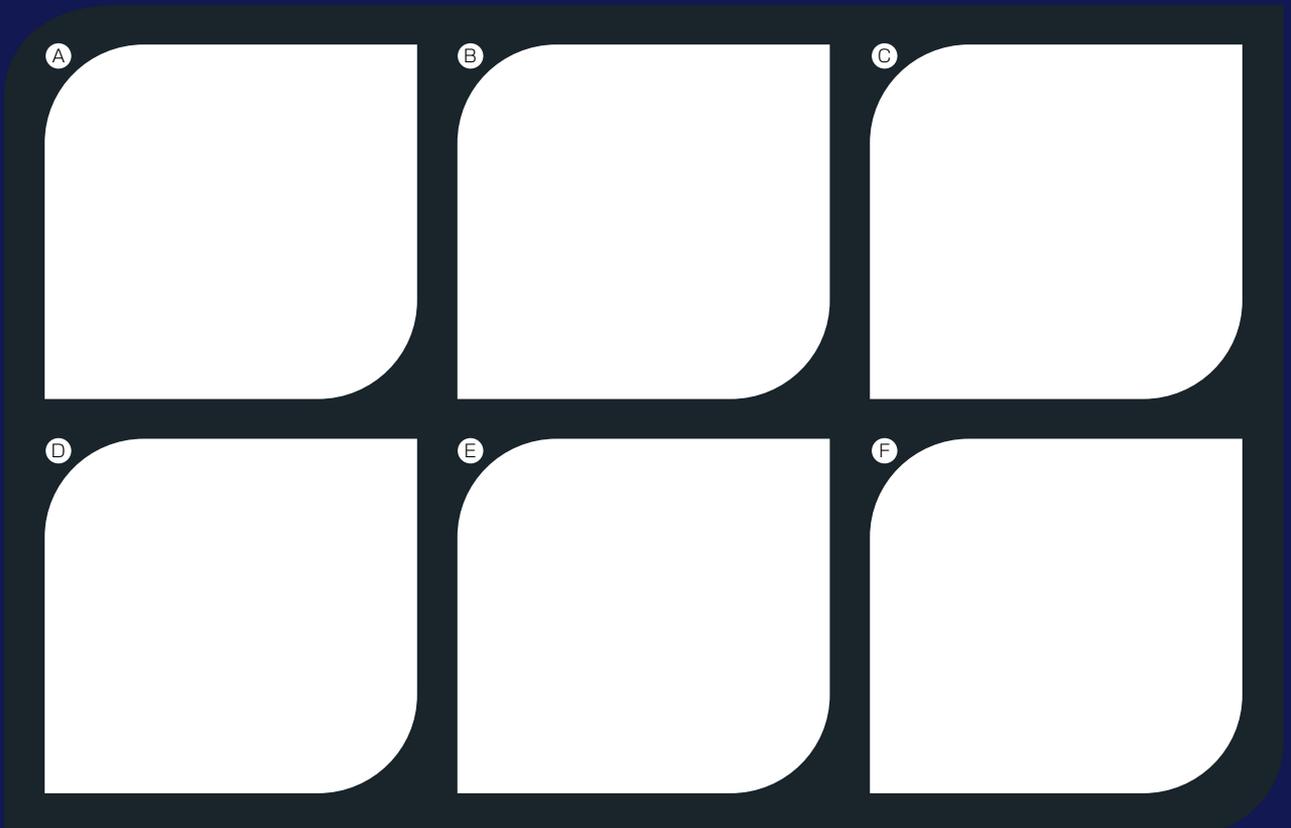
ラテラトーンR



■ 4工程

■ 上塗りローラー仕上げ

- A クラウドホワイト
- B トラウトグレー
- C モーニングウィンド
- D ブルックリンベージュ
- E デザートローズ
- F フィールドグリーン



ラテラトーン (上塗り吹き付け仕上げタイプ)

工程	使用塗料	希釈割合 (清水)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔 (23°C)	
							工程間	最終養生
素地調整	付着物 (ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類) をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。							
下塗り	ラテラシーラー 15kg	既調合	ハケ・ローラー、エアレス	1	0.1~0.2	75~150	2h以上	-
中塗り	ラテラベスカラー 15kg	0~1.5kg	ハケ・ローラー、エアレス	1	0.18~0.22	68~83	2h以上	-
上塗り	ラテラトーン 18kg	既調合	万能ガン (口径 5.5mm)	1	0.4~0.5	36~45	-	24h以上

ラテラトーン R (上塗りローラー仕上げタイプ)

工程	使用塗料	希釈割合 (清水)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔 (23°C)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物 (ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類) をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	ラテラシーラー 15kg	既調合	ハケ・ローラー	1	0.1~0.2	75~150	-	2h以上	-
中塗り	ラテラベスカラー R 用 16kg	0~1.0kg	ハケ・ローラー	1	0.25~0.35	46~64	-	3h以上	-
上塗り	ラテラトーン R 16kg	既調合	砂骨ローラー	2	0.5~0.6	13~16	4h以上	-	24h以上

注意事項・お問い合わせ

上塗り塗料の特別な注意事項 ※施工前に必ずお読み下さい。

- 養生
 - 上塗り施工後、早い時期に養生をはすして下さい。乾燥後取る場合はカッターナイフ等で切れ目を入れてから除去する様にして下さい。
- 塗料の調整
 - 「ラテラトーン」及び「ラテラトーン R」は柄杓等で穏やかに攪拌してください。マーゼルなど高速回転の攪拌機を使用した場合、ゲル (模様を形成する粒子) が破壊され、模様が異なります。
 - 上塗りは無希釈で施工して下さい。
- 塗装方法
 - 上塗り共通
 - パターン付けは、長い距離を一気に進む、手の届く範囲で作業して下さい。
 - 面内の塗り継ぎは、塗り継ぎムラが発生する場合がありますので、すばやく作業を行って下さい。大面積への施工には適当な間隔で目地を入れることでより自然な仕上がりになります。
 - 複数の塗り手で仕上げる場合は、必ず相互の仕上がりが揃うように事前に打ち合わせを行って下さい。
 - ラテラトーン (上塗り吹き付け仕上げタイプ)
 - 「ラテラトーン」は、ハケ・ローラーでは施工できないため、必ず万能ガンを使用して下さい。
 - 入り隅部の施工は、難しいので注意して下さい。
 - タッチアップする場合は、万能ガンにてタッチアップして下さい。ハケ・ローラーでは施工できません。
 - ラテラトーン R (上塗りローラー仕上げタイプ)
 - 「ラテラトーン R」を砂骨ローラーに十分含ませて、配り込みをして、縦横に2往復程度ゆっくり移動させながらパターンが均一になるように整えてください。
- ※何度もローラーを転がしたり、強く塗面に押し付けると、ゲルが小さくなり塗装ムラの原因となります。
- 入り隅部等、ローラー塗装が行いにくい箇所については、コーナーローラー、ウィンナーローラー、ハケ等でパターンを合わせながら施工してください。

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度 (80%以上)・低気温 (5℃以下) の場合は施工を避けて下さい。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶付けを起こすおそれがあります。
2. 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けて下さい。
3. 塗装後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装して下さい。
4. 塗表面のゴミやホコリ等は取り除いて下さい。
5. 水洗後、1日以上乾燥を行って下さい。
6. 塗料は内容物が均一になるように攪拌して下さい。薄めすぎは隠れ力不足・仕上がりに不良等が起こりますので注意して下さい。
7. 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
8. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なる為に若干の色相差が生まれますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装して下さい。
9. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げして下さい。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
10. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生して下さい。
11. ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取って下さい。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取って下さい。
12. 酸洗を行う場合は、水をかけた後に洗い、その後の水洗は念入りにして下さい。
13. 著しく劣化したサイディング材へ塗装すると意匠性が劣るため、塗装は避けて下さい。
14. 2回目の上塗り塗装時に、吸い込みが大きく、塗料が表面に残らない場合は、再度塗装して下さい。(合計3回塗りで仕上げして下さい)
15. 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装して下さい。
16. 目地部に塗料がたまった場合や、たれが発生した場合はむら切りして下さい。
17. 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きする事がありますので注意して下さい。また、上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないで下さい。
18. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修して下さい。また適正希釈にご注意下さい。
19. 汚れ・傷等により補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修して下さい。
20. 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
21. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こす事がある為、基本的には行わないで下さい。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用して下さい。
22. 排水溝には塗ってしないでください。
23. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質 (VOC等) に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意して下さい。
24. 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛ける事がありますので、十分に配慮をお願いします。
25. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

【塗料に関する注意】

1. 色は中途材、上塗材とセット色になっておりますので注意して下さい。
2. ラテラシーラーはその他の塗料と混合した場合、ゲル化しますので攪拌時などは注意して下さい。
3. 間隔時間は、温度、湿度、および風等により差異を生じます。
4. 旧塗膜の付着が悪い箇所は必ずケレンして下さい。
5. 材料は付着乾燥しますととれませんので、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。
6. 吹き付け後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合は、カッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残りパリとなります。
7. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないで下さい。
8. 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものを使用して下さい。
9. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行って下さい。
10. 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

本社	☎532-0006 大阪市淀川区西三国 4-3-90	☎(06)6391-3151 FAX (06)6393-1101
本社営業部	☎532-0006 大阪市淀川区西三国 4-3-90	☎(06)6391-3401 FAX (06)6391-3456
西日本開発部	☎532-0006 大阪市淀川区西三国 4-3-90	☎(06)6391-3401 FAX (06)6391-3456
東京支店	☎101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-5 NS岩本町ビル	☎(03)3865-8177 FAX (03)3865-8760
東日本開発部	☎101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-5 NS岩本町ビル	☎(03)3865-8177 FAX (03)3865-8760
北関東支店	☎348-0038 埼玉県羽生市小松台 2-705-22	☎(048)563-0355 FAX (048)563-5124
中部支店	☎486-0815 愛知県春日井市十三塚町 3-6	☎(0568)85-3551 FAX (0568)85-3556
広島支店	☎734-0022 広島市南区東雲 1-13-16	☎(082)284-6556 FAX (082)283-0017
福岡支店	☎811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町仲原 2628-1	☎(092)611-5731 FAX (092)621-2301
仙台営業所	☎984-0042 仙台市若林区大和町 1-22-36	☎(022)782-6770 FAX (022)232-6871
札幌営業所	☎003-0006 札幌市白石区東札幌 6条 5-2-6	☎(011)824-5711 FAX (011)824-6464
工場本社	・ 埼玉 ・ 中部 ・ 広島 ・ 福岡	

塗料に関するご質問、お問い合わせは

塗料相談室 ☎ 06-6391-3039

営業時間 午前 9:00~12:00 午後 1:00~3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
1405055255615